

改善箇所説明図



注：[] は、点検する部品を示す。

[] は、点検の結果、交換する部品を示す。

[] は、新たに取り付ける部品を示す。

ブレーキ液のリザーバータンクにおいて、生産工場での組付作業指示が不適切であったため、遮熱マットが正しく取り付けられていないものがある。そのため、エンジン高負荷時等の熱により当該リザーバータンクの端部が溶損することがある。最悪の場合、ブレーキ液が漏れ、高温の排気系部品に触れると火災となるおそれがある。

改善の内容

- ① 全車両、遮熱マットの組付状態を点検し、正しく取り付けられていない場合は修正する。また、リザーバータンクの端部に溶損が認められた場合はブレーキ液リザーバータンク付マスターシリンダーを新品に交換する。
- ② 全車両、リザーバータンクの端部に新たに遮熱フویلを取り付ける。

識別：キャンペーンステッカーに「外-3752、日付（西暦・月・日の順）ワークショップスタンプ」を記入し、ラゲージルームフロアに貼付する。